

二〇一九年度入試 A-II選考（適性検査入試）国語社会探究 その一

1 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

大学を出て、公務員としての地味な毎日を一年ほど送った頃になつて、彼は唐突にボクシングに目覚めた。きっかけは、高校時代の友人がプロボクシングのライセンスを取得し、遅いデビューを飾つたことだった。応援にかり出されて、初めて訪れた後楽園ホールの客席で、彼は今までに味わつたことのない興奮を覚えた。もちろん今までにテレビで観たことは何度かあつたが、生の試合はまったく別物だった。生身の人間と人間が、地位でもなく名譽でもなく金でもなく、もっと崇高な何かのために殴り合う。リングに上がつたボクサーは、ただ相手を倒すためだけにそこに生きている。その圧倒的な存在感は、曖昧きわまりない人生を歩んできてしまった彼にとって、まさに驚きだった。

以来、彼は暇を見つけては後楽園ホールへ通うようになった。別にタイトルマッチでなくとも、四回戦でも六回戦でもいい。ボクサーのそばにいて、同じ空気を吸い、同じ興奮を分かち合うことが彼にとっては大きな喜びだった。半年ほど足しげく通っている内に、何人かの顔見知りができ、選手やトレーナーに紹介された。

*³ 「レフエリーの資格をとつたらいいじゃないか。そうすりや、ボクシングをもつと近くで見られるよ」

冗談半分でそんなアドバイスをしてくれたのは、都内にある小さなジムの会長だった。本業は質屋なのだが、この男もまた趣味が嵩じてボクシングにめり込んでしまつた人間の人だつた。

*⁴ 彼はこのアドバイスに従い、すぐにレフエリーの資格をとる勉強をし始めた。それは運転免許を取得するよりもほんの少しだけ難しい程度のものだつた。五ヵ月後に、彼は日本ボクシング協会のレフエリーライセンス試験を受け、これを取得した。^③ 大学に合格した時や公務員試験に受かつた時よりも、はるかに嬉しかつた。

初めて彼がリングに上がつたのは、四月半ば——桜が散つた頃だった。真夏の太陽のようにカツと照りつけるライトの下で、彼は自分の名前がアナウンスされるのを聞き、緊張と興奮で頭がぼうつとしてしまつた。黒いズボンに白いシャツと蝶ネクタイ。すべて自前で新品のものを揃えた。試合はもちろん四回戦だ。ボクサーは三人ともこれがデビューウーマンだった。つまり三人のニューフエイズがリングの上に集まつたことになる。

試合に先立つて彼は二人のボクサーをリング中央へ呼び、マニュアル通りに試合上の注意を与えた。^④ 声が震えているのが、自分でも分かつた。ゴングの前に客席を見回すと、四回戦にしては意外なほど客が入つていて。デビューウーマンだから、応援の友人知人たちができるだけ詰き集めたのだろう。全員が、二人のボクサーを食い入るように見つめるばかりで、レフエリーの彼に気を止める者は一人もいなかつた。しかし彼は満足だつた。

試合は白熱した内容だつた。二人の選手は技術こそなかつたが、負けまいとする気迫は世界ランカーに劣らないものがあつた。玉砕覚悟の闇雲なパンチの応酬で、三回半ばには双方ともに血まみれになつた。ブレイクを分けるために割つて入るたびに、彼の白いシャツにも血糊がついた。

三人ともに必死だつた。

結局、四回に赤コーナーの選手が放つたまぐれ当たりのアッパーで、青コーナーの選手はマットに沈んだ。壮絶な試合だつた。赤コーナーに近い客席からは、潮騒のような歓声が上がつた。その歓声は、すべて勝者のものだ。レフエリーの彼のために拍手をおくる者は誰もいない。しかし彼は、今までに感じた経験のない深い充実感に浸ることができた。

*⁵ 「俺はリングに立つた」
ひかえ室で血のついたシャツを脱ぎながら、彼は呟いた。

「俺は闘つた」

相手はいなけれど、お前は勝つた。よくやつた。よくやつた。そう自分に言い聞かせていて内に、彼は涙がこぼれてくるのを抑えられなくなつた。

二十数年間の人生で、彼は生まれて初めて何のまゝに勝つ喜びを、ひそかに噛み締めていた。

(原田宗典『人の短篇集』より「レフエリーの勝利」)

注 *1 ライセンス＝免許。 *2 四回戦＝四ラウンドで決める試合。ボクシングではライセンスの種類によって試合のラウンド数が決

まっており、四回戦が始まり。 *3 レフエリー＝審判員。 *4 嵴する＝程度がはなはだしくなること。 *5 ニューフエイズ＝新顔。

*6 世界ランカー＝世界ランキングで上位にあるような選手のこと。 *7 ブレイク＝ボクシングで選手たちに離れるように命令すること。

*8 アンペーリア・アンペーカント。下からあごをつきあげるように打つ攻撃法。

これまでの（）

問1 ——線①「今までに味わつたことのない興奮を覚えた」とあります、「彼」はどんなことに対して興奮を覚えたのですか。説明しなさい。

問2 ——線②「このアドバイス」とは、どんなアドバイスですか。説明しなさい。

問3 ——線③「大学に合格した時や公務員試験に受かつた時よりも、はるかに嬉しかつた」とありますが、それはなぜですか。次の文の空欄に入る語句を本文中から抜き出して答えなさい。

これまでの（）では得られなかつた喜びだから。

問4 ——線④「声が震えている」とありますが、この部分の彼の気持ちを具体的に説明している部分を書き抜きなさい。

問5 ——線⑤「今までに感じた経験のない深い充実感」とは、どのような気持ちですか。説明しなさい。

2

中学生のけんた君は、新聞で読んだ「ふるさと納税」に興味をもち、先生にいろいろと教えてもらいました。次の文章を読んで、後の間に答えなさい。

けんた「先生、最近新聞やニュースで『ふるさと納税』という言葉をよく聞きますが、どんな仕組みなんですか？」

先生「ふるさと納税というのは、自分の住んでいる市や町以外の自治体に対して寄付する制度なんだ。」

けんた「寄付だったら赤い羽根募金や歳末助け合い募金など、いろいろありますね。それと同じなんですか？」

先生「これは国が認めて後押しをしている制度なんだ。寄付という点では同じだが、相手先が都道府県や市町村の自治体に限られる。寄付した人は、まず自分が寄付したい自治体を選ぶ必要があるよ。」

けんた「なんだか人気投票みたいですね。自由に寄付できるとしたら、やっぱり人気のある自治体を選ぶんじゃないでしようか？」

先生「その通り。そこがこの制度の狙いの一つでもある。各自治体が人気を得ようと、他の自治体よりもよい政策を打ち出そうとがんばることで、自治体の間に良い競争が生じ、日本の自治体がよい姿になっていく。もっとも、寄付先としては、単に人気ということではなく、名前通り自分の出身の自治体への寄付が多くなることも狙いの一つだよ。また、国としては、せっかく始めた寄付制度がさかんになるよう、いろいろな『特典』も用意しているんだ。まず、寄付した場合、その分のいくらかを税金として治めなくて済むようになっている。だから、寄付した人は、現在住んでいる自治体へ治める税金の額が少なくて済む。また、寄付した自治体からは、お礼の品物を受け取ることもできる。このお礼は自治体によって異なり、その地方の名産品などの『人気商品』をお礼としている自治体があるので、ここでもより広い人気を得ようとの競争が行われているんだよ。」

けんた「寄付した相手の自治体からは喜ばれるし、税金を多く治める必要もないし、その上お礼までもらえるなんて、なんだかいいことづくめの制度ですね。」

先生「しかし、そうとばかりは言えないんだ。まず、人気競争の過熱による、お返しの品物の高額化の問題がある。寄付した額に対してより多くのお返しをする自治体ほど人気が出るので、どこも値段の高い商品をお返しにしようと/orする。でも、高額なお返しをすればするほど、本来寄付としていただく金額が減るので、寄付の意味がなくなることになるよね。」

けんた「確かにその通りです。本来はその自治体で使つてもらうのが本来の目的のはずですからね。」

先生「また、別の問題もある。さつき寄付した分を自分の住んでいる自治体の税金として納めなくてよいと言つたが、これが多額になると、今住んでいる自治体の税金が足りなくなる恐れも出てきていく。」

けんた「いいことづくめではないんですね。これからどうなっていくのでしょうか？」

先生「國も本来の寄付の姿を見失わないよう、最近お礼の額や内容に一定の制限を設けるようになつてきた。寄付する方もそれを受ける自治体も、やはり制度の本来の姿を考えてこの制度を使っていく必要があると思うよ。」

問1 右の文章で述べられている「ふるさと納税」の仕組みとはどのようなものですか。簡単に説明しなさい。

問2 この制度を使って寄付をする側の利点は何ですか。答えなさい。

問3 表1は、ふるさと納税を実際に行つた人に對して実施された、ある県のアンケートです。このアンケートから、ふるさと納税を行つた理由についてどのようなことが考えられますか。簡潔に説明しなさい。

問4 ふるさと納税制度の自治体側から見た問題点とはどのようなものですか。本文の内容を踏まえて説明しなさい。

問5 ふるさと納税制度のこれからの方とはどうあるべきだと考えられますか。本文の内容を踏まえて説明しなさい。

3

次の各問に答えなさい。

問1 次の(1)～(3)の——線部の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

(1) 運命に身を委ねる、 (2) ニウキの目で見る、 (3) エイミウ満点の食事、

問2 次の文の——線部「だ」と同じ意味・用法のものをア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

私たちの望むものは全世界の平和だ。

ア この国の人々はみんな自由だ。 イ 鈴木君の態度はいつもとても自然だ。

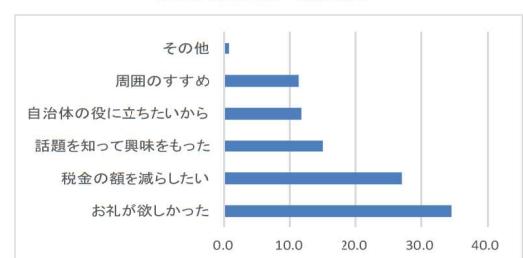
ウ 運動選手がまず考えるのは健康だ。 エ 私の祖父も祖母もともに元気だ。

問3 次の(1)～(4)の——線部の「」に入る漢字一文字を答え、()内の意味を持つ慣用句を完成させなさい。

(1) 「 」も杓子も（だれもかれもみな） (2) 「 」が好かない（なんとなく好きになれない）

(3) 「 」で鼻をくくる（大変不愛想にもてなす） (4) 「 」を持たず（相手をひきたてようと勝ちや手柄をゆする）

表1「ふるさと納税をはじめたきっかけは?」との質問への主な答え



2019年度入試 A-II選考(適性検査入試)国語社会探究 その3

- 4 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

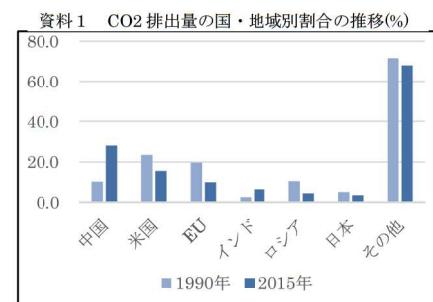
大きな環境問題として地球温暖化があげられます。もともと大気中には、地球を暖かく保つ役割をする温室効果ガスが含まれていて、^①二酸化炭素(CO₂)はその代表的なものです。産業の発展に伴い、石油などの燃料を使う工場や自動車等からCO₂などが大量に排出されてきました。また、家庭で電気やガスのエネルギーを使うことによってもCO₂は出されます。このため近年、大気中の温室効果ガスが増えすぎて、地球の気温が上昇していることがわかつてきました。これが地球温暖化問題です。

② 地球温暖化の影響としては、

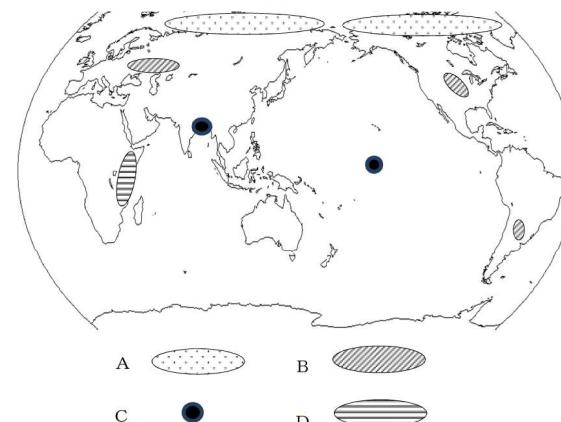
1. 気温の上昇によって陸地や海の氷がとけることによる変化
2. 海水面の上昇（この原因としては、1の他、熱による海水の膨張が考えられます）
3. 気温上昇による干ばつや食料不足
4. 利用可能な水（淡水など）の減少による生活への影響
5. 農業生産への悪影響（3・4などによる）

など、様々な問題があげられています。このため、この問題を世界的な問題として対応していくうえで③国際的な取り組みがなされるとともに、④各国の中でも様々な対策がとられています。

- 問1 下線部①について、資料1は、世界各国・地域別のCO₂排出量の変化です。これを見ると、中国とインドが急激に排出量を増やしています。その理由について、説明しなさい。



- 問2 下線部②について、次の図1のA～Dは、地球温暖化によって深刻な影響が予想される地域の一部を示したもので



- す。これらの地域に生じる影響を述べた文として適当でないものを、下のア～エの中から一つ選び、その理由も書きなさい。
- ア Aの地域では、永久凍土（氷がとけないで凍ったままの土地）がとけて、住宅地の地盤沈下が起こる。
- イ Bの地域では、気温上昇によって農業生産が減少する。
- ウ Cの地域では、海面の上昇によって家を失う人々が発生する。
- エ Dの地域では、氷河が減少し、そこに住む野生動物が減少する。

- 問3 下線部③について、2015年にパリ協定ができました。この協定は、各國のCO₂削減目標を定めたものですが、目標値とその基準となる年の設定については、各國の判断にまかされています。資料2は、基準年として考えられているいくつかの年について、五つの国の温室効果ガスの排出量をまとめたものです。資料から読みとれることとして最も適当なものを、下のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 5つの国とも「基準年が1990年。削減目標が20%」と設定したとした場合、2016年の排出量が目標を達成したことになる国は、ロシアだけである。
- イ 5つの国とも「基準年が2000年。削減目標が20%」と設定したとした場合、2016年の排出量が目標を達成したことになる国は、イギリスだけである。
- ウ 1990年の排出量と2016年の排出量を比べた場合、ドイツの排出量が減少した割合はイギリスよりも大きく、カナダの排出量の増加率は日本よりも大きい。
- エ 2000年の排出量と2016年の排出量を比べた場合、減少量が最も大きい国はイギリスであり、増加量が最も大きい国は日本である。

資料2 温室効果ガスの排出量
(二酸化炭素換算値・百万トン)

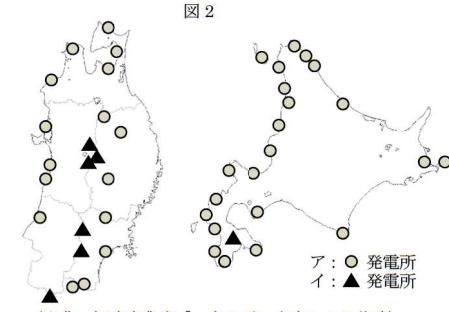
	1990年	2000年	2005年	2016年
カナダ	526	663	748	704
ドイツ	1,215	1,003	978	909
日本	1,211	1,300	1,307	1,305
イギリス	800	714	690	486
ロシア	4,105	2,086	2,221	2,644

(出典：OECD資料より作成)

- 問4 下線部④について、日本でも、CO₂を出さない発電方法である再生可能（自然）エネルギーを利用した発電が注目されています。次の図2のアとイは、この再生可能エネルギーを利用した主な発電所の分布を示しています。

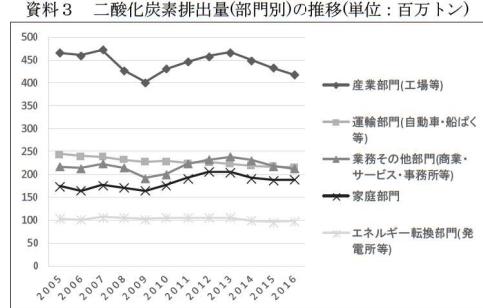
- ア・イのいずれかの記号を選び、どの種類の再生可能エネルギーを利用しているか、漢字で書きなさい。

また、地図の分布状況を見て、その発電所がなぜこのような分布となっているか、その理由を説明しなさい。



(出典：経済産業省「エネルギー白書」より作成)

- 問5 資料3は部門別のCO₂排出量の変化を表しています。これを見ると、私たちの生活の場である家庭部門は、排出量そのものは一番大きいわけではありませんが、2005年と比べた伸び率は最も大きいことがわかります。したがって、CO₂削減を国や企業にだけまかせるのではなく、私たちの身近な生活の場でも減らしていくことが重要だと言えます。資料4は、「一日一人あたりのCO₂削減量」を表しています。これを見て、私たちの日常生活でどのように注意すればCO₂を効果的に減らすことができるのか、説明しなさい。



資料4 1日1人あたりの二酸化炭素削減量

シャワーの利用時間を1日1分短くする	74g
おふろの残り湯を洗たくに使う	7g
入浴は間かくをあけずに行う	86g
使わないときは温水洗じよう便座のフタをしめる	15g
テレビを見ないときは消す	13g
1日1時間パソコンの利用を減らす	13g
電気をこまめに切って電力を節約する	65g
夏の冷ぼうの設定温度を26°Cから28°Cに2°C高くする	83g
冬の暖ぼうの設定温度を22°Cから20°Cに2°C低くする	96g

(資料3・4の出典：全国地球温暖化防止活動推進センターHPより作成)

